

プロ野球選手のオプション契約がベース年俸に与える効果の分析^{*}

1250423 尾崎達也

指導教員 草川孝夫

研究背景

日本のプロ野球界では、選手と球団との間で、出来高に応じたオプション契約が付与されることがある。金融市場におけるオプションは、正の価格で売買されているため、もしプロ野球選手のオプションにも正の価値があるのならば、オプションが付与された選手に対するベース年俸（成績がどれだけ悪くても支払われる年俸）が、オプションの価値の分だけ低くなるはずである。しかし、プロ野球選手の契約において、オプションに価値があるのかどうかを検証した研究は、いまだ存在しない。

研究目的

本研究の目的は、プロ野球選手の年俸、オプションの価値が反映されているのかを、実証的に明らかにすることである。

研究方法

プロ野球選手のベースの年俸を、年俸契約を締結する前の最新の成績と、オプションの有無に回帰することによって、オプション契約がベース年俸を低下させるのかを検証する。

分析結果

オプション契約は、ベース年俸を、有意に下げることはなかった。

結論

プロ野球選手の年俸を決定する上で、オプション契約がベース年俸を下げる効果は観察されなかったため、オプション契約が正の価値を持つのかは明らかにならなかった。

^{*} 本研究の論文を作成するにあたり、ご指導して頂いた高知工科大学・経済マネジメント学群の草川孝夫先生に心より感謝申し上げます。